向日葵だより
黒沼共同会計事務所
Kuronuma Accounting Office
あなたの快経パートナー
第307号
2023年4月10日発行

野球小僧

先の事務所通信第303号の「オタマジャクシはカエルの子」でご紹介しました灰田勝彦の1951年のヒット曲、「野球小僧」を知っている方はおられるでしょうか…

野球小僧

歌　灰田勝彦
作詞　佐伯孝夫
作曲　佐々木俊一

一
野球小僧に　逢ったかい
男らしくて　純情で
燃える憧れ　スタンドで
じっと見てたよ　背番号
僕のようだね　君のよう
オオ　マイ・ボーイ
朗らかな　朗らかな
野球小僧

二
野球小僧は　ウデ自慢
凄いピッチャーで　バッターで
街の空地じゃ　売れた顔
運が良ければ　ルーキーに
僕のようだね　君のよう
オオ　マイ・ボーイ
朗らかな　朗らかな
野球小僧

三
野球小僧が　なぜくさる
泣くな野球の　神様も
たまにゃ三振　エラーもする
ゲーム捨てるな　頑張ろう
僕のようだね　君のよう
オオ　マイ・ボーイ
朗らかな　朗らかな
野球小僧

先月、こんな古い歌を思い起こさせてくれる「野球小僧」達の「侍ジャパン」がWBCで大活躍して、３大会ぶり３度目の優勝を成し遂げてくれました。特に、決勝での日米対決は初めてのことで、日本にとって長く目標であり、憧れであったベースボールの本場と最高の舞台でまみえ、いかんなく実力を発揮しました。全選手が心を一つにし、最後まであきらめない結束力が数々のドラマを生み、新時代の日本野球を世界に刻む最高の大会となりました。そんな中でも、MVPに輝いた大谷翔平選手の二刀流での活躍は、前人未到の偉業を目の当たりにしていることを感じさせてくれました。日本だけでなく、世界を代表して野球の魅力を伝導するスーパースターの活躍にあこがれる少年たちの中から、次の日本代表やメジャーリーガーが育っていくことでしょう！　選手を信じて起用を続けるなど、選手の自主性を重んじて最高のパフォーマンスを引き出した栗山英樹監督の手腕も見事なものでした。（組織の理想のリーダー像を重ねた人も多かったことでしょう。）コーチたちも口をそろえて「間違いなく自分の人生の中で一番くらいに楽しい思い出でしたし、選手たちはめちゃくちゃいい子ばっかり...」と強調していました。帰国時の会見に臨んだ選手たちは、間違いなく全員「野球小僧」の顔でした。　…それにしても、この半年間に私たちが味わったサッカーのワールドカップおよびWBCでの成果は、日本のスポーツ史の中で特記すべきもので、永く語り継がれることでしょう。

公認会計士　黒　沼　　憲